

## -サプライチェーン排出量-

当社グループの上流から下流までのサプライチェーン全体におけるGHG排出量を把握し削減に努めることで、より広範囲の環境負荷を低減していきます。

## サプライチェーン排出量（スコープ1～3）

単位：トン-CO<sub>2</sub>、期間：年度

項目名			2018	2019	2020	2021	2022	
スコープ3 (上流)	カテゴリー1	購入した製品・サービス	139,263	104,240	100,628	121,440	137,495	
	カテゴリー2	資本財	13	380	0	0	122	
	カテゴリー3	スコープ1, 2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	601	1,254	1,218	1,127	1,001	
	カテゴリー4	輸送、配送（上流）	2,769	2,133	1,651	2,101	2,835	
	カテゴリー5	事業から出る廃棄物	202	150	127	123	138	
	カテゴリー6	出張	1,512	2,807	475	424	878	
	カテゴリー7	雇用者の通勤	1,094	942	82	104	89	
	カテゴリー8	リース資産（上流）	726	656	586	516	521	
スコープ1（自社）		直接排出	581	534	1,086	1,095	1,152	
スコープ2（自社）*2		エネルギー起源の間接排出	ロケーション基準	11,055	9,625	8,277	7,488	6,324
			マーケット基準	10,637	9,204	7,843	7,437	6,091
スコープ3 (下流)	カテゴリー9	輸送・配送（下流）	非該当*1	非該当	非該当	非該当	非該当	
	カテゴリー10	販売した製品の加工	-*1	-	-	-	-	
	カテゴリー11	販売した製品の使用	110,902	68,042	74,071	95,613	93,086	
	カテゴリー12	販売した製品の廃棄	非該当	非該当	非該当	1,423	1,368	
	カテゴリー13	リース資産（下流）	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	
	カテゴリー14	フランチャイズ	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	
	カテゴリー15	投資	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	

\*1：「非該当」は、当社グループとして算定の対象外と判断した項目。「-」は、該当するが算定が技術的に困難で、見込まれる排出量が相対的に低いと判断した項目。

\*2：ロケーション基準の温室効果ガス排出係数は、すべて0.57トン-CO<sub>2</sub>/MWhを使用。マーケット基準の同係数は、基本、各事業所・グループ会社が存在する地域の管轄電力会社のものを使用。いずれも再生可能エネルギーとしての電力を除く。